

夏休みに

# 自分たちのまちを🔍 調べてみよう!

みんなは  
冠島を見たことある?



舞鶴市には、たくさんの歴史があります。今回はその中から、一般の人が上陸することができない島「冠島」を紹介します。  
この夏休みは舞鶴の歴史を調べてみましょう。

《広報広聴課》



## 舞鶴湾に浮かぶ 歴史ある島たち

舞鶴市には戸島や蛇島、磯島、沖島など、さまざまな歴史や個性を持った島があります。その中の一つ、舞鶴湾の沖合約10キロに浮かぶ無人島が「冠島」です。

この島は、一般の人が立ち入ることを厳しく制限された「禁足地」であり、舞鶴市民でも上陸したことがある人はごくわずかです。

## 歴史と大自然が守られる特別な島

冠島は人が立ち入れないことや天敵となる生き物が少ないこと、餌となる魚が多いことなどから「オオミズナギドリ」の繁殖地として、大正13年に国の天然記念物に指定されました。

他にも「北海道渡島大島」「岩手県三貫島」「島根県星神島」「島根県沖ノ島」「新潟県粟島」が繁殖地として天然記念物に指定されています。

## 代々受け継がれてきた雄島参り

普段は上陸できない冠島ですが、人が島に渡る日があります。

それは島に祭られている老人島神社の例大祭「雄島まいり」が行われる6月1日です。大漁旗を掲げた漁船が冠島へと向かい、上陸後には赤いのぼりを本殿の前に立てて、豊漁と海の安全を祈る祈願祭を行います。

この「雄島参り」で神社の鍵の管理などを取り仕切る役割を「祭祀権」と呼び、大浦半島の野原・小橋・三



大きさもさまざまな島が浮かぶ

ますが、冠島は最初の指定地であり、全国的にも注目される特別な島です。

指定以来、島へは緊急避難と祭祀、学術研究目的以外には、立ち入ることができず、現在も上陸には届け出による許可が必要となっています。

また、その自然環境を保護するため、平成19年には「若狭湾国定公園特別保護地区」にも指定されています。

浜の3地区が持ち回りで担当してきました。

なお3つの地区以外にも老人島神社への参拝は、宮津市や伊根町、福井県小浜市や高浜町などの周辺地域からも訪れています。

そもそも冠島の周辺は古来より、多くの魚が獲れる漁場であり、海上交通の要所でした。また、しけや災害などの海難からの避難島としても利用されており、丹後や若狭の海と共に生活する人々は島を「雄島さん」と呼び、信仰を集めてきた背景があります。